



未来を目指して、
心に豊かさを実感するまち、
子どもの笑顔がはじけるまちをつくりまします。

やる気と底力を結集して、 地域に元気と自信を取り戻したい。

日本は今、世界経済の荒波に翻弄されさまざまな困難に直面しています。WTOにおける多角的貿易交渉や飼料・肥料・燃油の高騰など、農業や漁業などの一次産業を取り巻く環境はますます厳しさを増し、長引く景気低迷と少子高齢化により、道内経済はその活力を失いつつあります。

かつて税源が豊かであった本町も、町税の減少が続き、財政規模の縮小を余儀なくされており、基幹産業である農業の再興と人口対策はこれまで以上に急がれています。約4,800ヘクタールの農地は、110年を越える歳月をかけて育ててきたかけがえのない宝であり、厚真町の源でもあります。

厚真町は、温暖な気候と景観に恵まれた北部山岳ゾーン、厚真川や支流域に広がる肥沃な農業ゾーン、苫小牧港東港を抱える企業誘致適地の臨海ゾーンとその懐の深さが魅力です。これまでに、大勢の方が移住してきたルーラルビレッジは、その訪れる方々から地の利と自然の豊かさのギャップに驚嘆の声をいただけてきました。

こだわりの自然や人へのいたわりと地域へのこだわりを大切に、無いものねだりからあるもの探しへと立ち位置を変えて、本町の地域特性を生かし、大いなる挑戦を行っています。厚真町のすばらしい風土を生かし、若いも若きも手を携えて暮らしていけるそんな町を未来に残したいと考えています。“いのち満ちる農の里あつま、大いなる田園の町”をモチーフに「心に豊かさを実感するまち」「子どもの笑顔がはじける未来」を目指して、町民の皆さまと一緒につくりあげたいと考えています。

厚真町長 **宮坂 尚市朗**

